

2023.5.18 (木)
第40回例会
(通算3709回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	青少年奉仕月間
本日のプログラム	「新入会員歓迎例会」(クラブ研修委員会・親睦活動委員会)
次週例会	「嵯峨記念奨学生新入生紹介」・IMに参加して(嵯峨記念育英会委員会・理事会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：市橋 彦佳丞君
- 会員数 101名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

滝越 康雄会長

たびたびの登壇で申し訳ございません。会長挨拶として今日の話は2つのポイントでお話したいと思います。



ひとつは、IM関係です。たまたま来週がプログラム委員会で組まれたIM関係の発表例会がありますのでIMの中身についてはパスします。

去年の最初の七分区の会長幹事会において美馬ガバナー補佐から私は中島幹事と一緒に「IMがあるけど、白糠は不便で施設も大きなものがない」と相談を受けました。が、「逆に、レトロ感覚、昭和という雰囲気、という手作り感がホテルより好きだよ」と申し上げておりました。

13日は空は晴れているし、桜は咲いているし、屋台・外での談笑、そして程よい距離で駅までの徒歩。良い材料になったと思っています。雨だったら大変でしたけども、天気がついていました。

ここでポイントの1つで白糠という街に触れたいと思います。今回も、棚野町長は最後までおられました。釧路もそうですが海岸沿いにあるため、こういう良い時期には太陽が期待できない、ガスが多い街です。ここで役場の話をしたいのですが、釧路と比較するわ

けではないですが、私も仕事の関係上、ずっと前から白糠町役場にお邪魔していました。役場はワンフロアのメリットが大きいのです。

この前、家電店の社長と話をしましたら、「釧路の家電店はワンフロアで駐車場付き、このメリットは秋葉原から見たら、レジが少なくて済むし、その分の経費が浮く。そして土地が安いから、そういうことができる」という話です。この役場がワンフロアというのは非常に見通しが良いのです。1階が町民の住民票などの場所で、2階が全部そういう部署になっていまして、全部、素通しで見通しが効く。現場の雰囲気、現場情報が飛び交ったパワーあふれる感情を前から持っていました。

たまたま今回の講演の中でも、町長さんは、ふるさと納税の利益を「金びか」や「コンクリート」にしないで、将来の財産として子ども教育に使う、住民福祉に使う、ときっぱりと言っていて、非常に感動しました。

釧路と合併していたらどうだったか。こういうオリジナリティは実現不可能でしたね。この政策はとても町に団結力と底力がなかったらできないので、今回のIMもその部分が出て、すごい街だなと感じました。話のポイント2つ目です。

ここは奉仕団体ですけれど、将来の釧路の経済で私の懸念をお伝えしておきます。

最近の傾向で、釧路対帯広というのが非常に際立って

きています。昨日得た情報なのですが、場所は噂で聞いてください。3月30日に鳥取方面の商業地が大量に帯広資本に買われました。「〇〇が行った」「△△行っちゃった」の情報は入ります。入るけど悔しさの気持ちが伝わってこない。昔の競争は5対5でしたが、それに差がついて4対6、その次に3対7というのがあります。3対7というのは倍です。

懸念するのは長い目で見たら、帯広のブランチ、帯広の支店の街になるのではないかなど。帯広の枝か、これがじわじわと来るような、それに対しての悔しさがなくて、ちょっと情けないも含めて危ないかなという気がしております。

何かあったら稟議あげるのに、帯広に行くような街にしたくないです。

これは私一人が気をもんでいる状態で、感じたことを今日挨拶として述べておきます。以上です。

幹事報告 中島 徳政幹事

私は、個人的に白糠町は不便な街だと思っていますのでお伝えしておきたいと思います。私にとりましてはワインの師匠がいい、山の物、海の物、お肉、お魚、と大変味わわせていただいております。素晴らしい街だとお伝えしておきたいと思います。

IMでは戸川支社長が新型車両を2つ用意していただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。小野寺君の名アナウンスと、邵さんのアナウンスもしていただきまして、大変皆さまにご迷惑おかけし、ありがとうございました。ご参加いただいた方、ありがとうございます。まずはお礼申し上げておきます。

また、野遊会の案内も出させていただいております。もう一度、反対側の方に皆さんで遊びに行きたいと思っています。ご参加のほどよろしくお願いいたしますと思います。

新入会員紹介

滝越 康雄会長



紹介申し上げます。

お名前は、多田賢一君。事業所は北海道電力ネットワークで、釧路支店長です。職種分類としては電力供給となっています。

ゴルフ・麻雀はOKです。趣味はハイキング・温泉などで道東の自然を楽しむこと。今で言うなら熊に気を付けてくださいね。「何か一言お願いします」の欄では、

「クラブの活動を通じて微力ながら地域に貢献できるよう努めてまいります。よろしく申し上げます」と。今までの釧路の緑ヶ岡の変電所から同じく釧路の支店に転勤ということです。

ご本人から自己紹介を含めてご挨拶をお願いします。

北海道電力ネットワーク釧路支店 多田賢一様



皆さん、初めまして。北海道電力ネットワーク釧路支店の多田です。私は4月1日から前任の米倉の後任ということで仕事しております。

釧路には約2年前の2021年7月に自宅がある札幌から転勤してまいりまして、緑ヶ岡に変電所があるのですが、その事業所で電力設備の変電所や送電線、それから電力システムの運用の仕事を3月までしてまいりました。

ご紹介ありましたように4月1日に緑ヶ岡の事務所から3.5キロくらい、今も歩いて通っているのですが幸町の事務所に転勤になっております。

これから皆さまとの交流を通しまして、釧路のこの地域の理解を深めていくということと、歴史と伝統があります釧路ロータリークラブの一員として奉仕の理念に基づいて行動して参りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

歓迎の言葉 滝越 康雄会長

クラブで今、会員数がナーバスに「100」を秒針のごとく振れています。これは逆に言うと非常に安定しております、これも釧路に転勤で住んでおられる皆さまの功績が大とすところす。この前、IMで他のクラブと交わってまいりましたが、釧路のクラブに上品さをくれているのは、転勤で各地の文化を持ち込んで下さっている新入会員さんのおかげかなと思います。そういった面で情報網といい、新鮮さといい、みんなは事業を行っている方ばかりなので転勤などないので、そこへ新しい人事で新鮮な方が入って来るのは非常に良いことなので、それに対して私どもは短い間ですけれど、大いに親睦を深めて釧路を売り込んでいきたいと思っています。

新入会員の方には、いろいろ楽しんで頑張っていたいただきたいと思っています。

ところで、私の在任中は短い期間ですけれど親睦委員会、横田委員長にお世話になりたいと思います。委員会配属をよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■
新入会員歓迎例会

クラブ研修委員会 杉村 莊平委員



皆さん、こんばんは。雰囲気は少しおとなしくなっていましたので、少し元気よく夜例会を始めたいと思います。趣旨説明ですが、本日は6名の新入会員を迎えて「新入会員歓迎例会」ということです。コロナが明けてこれからどんどんお酒を交えての親睦事業も始まってくると思っております。この新入会員との出会い・交流を本当に楽しみながらロータリーを大いに楽しんでいただければと思います。

ここで今日の例会の根幹となる会員増強について少し話をさせてもらえればと思います。僕の経験から踏まえて、この会員増強というのは結構しんどい作業でして、歓迎もされていない候補者のところに1年、2年もかけて、何回も何回もお願ひに行くわけです。場合によっては自腹を切って飲みに来て行って、口説くわけです。これだけ見るとぜんぜん会員拡大と割が合わないのです。俺は何をやっているのだろうと思うこともあります。

この会員増強には2つのご褒美があります。1つは、これだけ一生懸命口説くわけですから自分もロータリーを考えるわけです。ぼくは何のために作業をやっているのだろう、と。このロータリーは僕に何を与えてくれるのだろうと一生懸命考えるようになる。そうしないと口説けないものですから。それがロータリーについて自発的にいろいろ考えるというご褒美が1つです。

もう1つは、無事に候補者が入ってきた場合に、この候補者から、あれだけ偉そうに口説いていたこの人は、どれだけ素晴らしいロータリー活動をしていたのだという目で、常に背中を見られているプレッシャーを感じるようになるわけです。そうすると、自分もロータリーを楽しまなきゃと、積極的に自ら楽しもうと自ら奮い立たせて頑張るわけです。ぼくも最近は出席が多いですが、その意識で頑張っています。それがロータリーのご褒美の二つです。

ということで、今日も新入会員を交えてこうやって大いに交流する場です。この大いに交流することが自分の成長とロータリーを楽しむというのがイコールだとしてご認識していただいて、少しアレンジしましたけれど、大いに今日は楽しんで交流を深めていただければと思います。以上です。

皆さん、こんばんは。人生には必ず出会いと別れがあります。人は常に良い出会いを求めています。いい大人になってからロータリークラブという出会いを新入会員の皆さんが持たれたのは大きな幸せだと思

います。仏教用語に『発心』という言葉があります。正式には『発菩提心』というのが正しいかなと思

います。この釧路ロータリークラブに入会を決心したことがまさしく発心だと思

親睦活動委員会 横田 委員長

皆さん、こんばんは。親睦活動委員会の横田です。本日は新入会員歓迎例会といたしまして今回は7名の対象者がいる中で6名の方に参加していただいております。本日、入会された多田君も含めて6名になって

おります。皆さん、顔も名前も一致しない方がいらっしゃると思います。この例会を機会に積極的に会員の方が新入会員の方に声をかけていただいて、親睦を深められればと思っております。それでは乾杯をしたいと思います。乾杯は、クラブ広報・会員組織委員会委員長・及川雅順君、よろしく願いいたします。

乾杯の音頭

クラブ広報・会員組織委員会 及川 雅順委員長

皆さま、こんばんは。6名の新入会員の方、どうもありがとうございます。私がクラブ広報・会員組織委員会委員長の及川です。ロータ



リークラブに入会したからには、早く馴染んでロータリーライフを楽しんでいただきたいと思

(親睦活動委員長 横田英喜の司会により今回入会の五名の新入会員の紹介がありました。)

締めの挨拶

クラブ研修委員会 舟木 博副委員長

皆さん、こんばんは。人生には必ず出会いと別れがあります。人は常に良い出会いを求めています。いい大人になってからロータリークラブという出会いを新入会員の皆さんが持たれたのは大きな幸せだと思



います。この釧路ロータリークラブに入会を決心したことがまさしく発心だと思

例会スナップ

